



# くにたち市議会だより

第3回定例会  
No.241



発行：国立市議会 編集：広報委員会 国立市富士見台2-47-1

(PC・スマートフォン専用)

平成29年(2017年)11月5日 Tel:042-576-2111 内線(271) Fax:042-576-2205 <http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/gikai>



## 国立駅南口自転車駐輪場が移設・新築されました 10月1日オープン



### Topics

- 平成29年度一般会計補正予算(第2号)案は賛成多数で可決されました 【2面に詳細】
- 谷保・泉の交通不便地域で新しい公共交通(予約制乗り合い交通)の試験運行を行います
- 国立市の町区域が新設・変更されたことに伴って、位置の表示が変更になります 【4面に詳細】  
対象(・くにたち中央図書館青柳分室・青柳台遊園)  
施設(・青柳台第2遊園・青柳福祉センター)
- 骨髄移植ドナー支援制度策定に関する陳情は賛成全員で採択されました
- 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情は賛成多数で採択されました 【2面に詳細】
- 第2回定例会で継続審査となっていた「陳情第9号国立市内温浴施設に関する陳情」は、陳情事項に関わる内容が実現したため、陳情取り下げとなりました
- 固定資産評価審査委員会委員が、賛成全員で同意されました 【4面に結果】

★ 以下の事項について、行政から各常任委員会に報告されました 【3面に詳細】

#### 【総務文教委員会】

・くにたち未来寄附における特典品の見直しについて

#### 【建設環境委員会】

・国立市富士見台地域まちづくりビジョン(案)について  
・第3期国立市中小企業等振興会議の最終報告について

#### 【福祉保険委員会】

・平成30・31年度の後期高齢者医療保険料について  
・国立市における待機児童の解消に向けた取組について  
・国立市保育整備計画(案)について

11月11日(土)、12日(日)  
第40回 国立市  
農業まつりにて、  
国立市議会  
意見交換会を  
行います!



詳細は8面をご覧ください

### 議会の傍聴にお越しください!

12月議会(第4回定例会)のお知らせ



日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28 議会運営委員会	29	30	12/1 本会議初日	2
3	4	5 本会議	6 本会議	7 本会議	8 本会議	9
一般質問						
10	11	12 総務文教委員会	13 建設環境委員会	14 福祉保険委員会	15	16
17	18	19 議会運営委員会	20	21 本会議最終日	22	23

開会時刻は午前10時の予定です。

請願・陳情のメ切：11月27日(月)正午までに議事事務局へご持参ください。  
\*日程は変更になることがありますので、市のホームページでご確認ください。

# 中央線高架下の市民施設、民間保育園2園が整備され、デマンド型交通の試験運行が始まります【第74号議案】 平成29年度国立市一般会計補正予算（第2号）案【可決】



## こんな質疑がありました

### ▼総務文教委員会

Q. オンブズマン報酬が増額している理由は。

A. 苦情等の受付件数が想定よりも上回り、多忙になっている。迅速な制度運用を継続するため、増額した。

Q. 高架下市民施設の女性相談窓口は、どのように運用するか。

A. 市内の男女共同参画の拠点となるセンターを来年開設するとともに、男女平等に関する多種多様な相談を受ける。

Q. 選挙管理委員会の特別旅費は、なぜこの時期の予算化か。

A. 5月に全国市区選挙管理委員会連合会の副会長市になり、その総会の開催場所（愛媛県松山市）が8月に通知されたため。

Q. 住民基本台帳システム改修は、コンビニ交付をしていなかったら、86万円で済んだのか。

A. その通りである。

Q. なぜ本体改修よりもコンビニ交付改修にお金がかかるのか。

A. システムの組み立て方による積算結果である。

Q. 就学援助の入学準備金の前倒し支給の対象数の見込みは。

A. 小学校62名、中学校88名。

Q. 準要保護世帯の就学援助の単価が上がったというのは、どういうことか。

A. 新入学時に費用がかかることから、国が示す新入学用品の単価が約2万円から倍増された。

Q. 国立駅高架下に、どのような図書館機能を持つてようとしているのか。

A. 市民サービスコーナーでの予約本の貸し出し・返却機能が決ま

っている。読み聞かせなど、その他のサービスは今後検討していきたい。

### ▼建設環境委員会

Q. 自転車対策事業の内容は。

A. 都市計画道路3・4・10号線の用地取得のため、国立駅南第2駐輪場の一部を更地化して渡し、残りを再整備（工事・ラック購入）する。総事業費は2年間で1億3千700万円と見込む。

Q. なぜ第2駐輪場の西側を代替地にできなかったのか。

A. 限られた条件の中でギリギリの調整をする中で、駐輪場東側で地権者と合意された。

Q. 旧国立駅舎の再築工程は。

A. 基本設計を終え、今年度は実施設計を行っている。30、31年度で建築工事を行う。

Q. 交通安全推進事業の内容は。

A. 昨年の市民祭で警察が行ったスタントマンを使った自転車交通安全啓発イベントを、市で継続して開催する。

Q. 自立型ソーラースタンド設置事業は、どのようなものか。

A. 東京都の全額補助で、災害時に携帯電話充電機能がある太陽光発電LED照明を、市内4カ所に設置する。

Q. デマンド型交通導入調査のイメージは。

A. ハケ下の交通不便地域の解消のため、定時定路線型コミュニティワゴンでなく予約型の公共交通を、来年度に数ヶ月間、試験運行し、条件整備の後、31年度に試験運行につなげたい。

Q. 高架下市民利用施設で、どのようなサービスを行うか。

A. 証明書や住民票の交付、各種申請、予約図書の出貸・返却など

を予定している。

### ▼福祉保険委員会

Q. 富士見台2丁目の保育園新設2億1千万円の負担内訳は。

A. 8分の7補助で、都が約1億6千万円、市が4千580万円。事業者負担は9千270万円。

Q. 事業者負担が高い印象があるが、なぜか。

A. 近隣の意見を受けて定員を66人に減らし、補助金のランクが下がった。また、屋上庭園をやめて3階建にするなど設計変更があり、建築費が上がった。

Q. 保育士キャリアアップ補助は、保育士の待遇改善に反映されているか。

A. 支給後に賃金改善実績報告書を提出してもらっている。都の集計から、2万円前後の上乗せになると考えている。

Q. しょうがい者の日中一時支援事業は、6月議会の陳情を受けて出てきたものか。

A. その通りである。

Q. 事業所の努力で、今夏休みの日中の居場所は確保できたのか。

A. 2、4人の利用があったと聞いている。

Q. 素早い対応を評価する。今後の取り組み予定は。

A. 補正予算可決後10月に事業者に告知し、11月に保護者に告知していきたい。

コンビニ交付は、必要なシステム改修だ。

反対 コンビニ交付は本体を上回るシステム改修となり、非常にコストが悪い。散財する金額が多すぎる。予算にメリハリを。

賛成 安心安全カメラ設置は、都の補助を受けやすくなったことを広報し、自治会への適用を働きかけてほしい。

反対 選管の特別旅費は、パツクやビジネス割引などを使い、低減に努めていただきたい。

▼建設環境委員会

反対 一等地にある駐輪場を都市計画道路の代替用地とすることは疑問だ。旧駅舎の両サイドのJRビル建設計画に対しては、JRにしっかりと主張すべきだ。

賛成 自転車対策、デマンド型交通委託、旧駅舎再築など、インフラ整備はいち早く必要だ。

反対 第2駐輪場敷地内でも西側に代替地を移せば、1億3千万円もの支出は要らなかった。

▼福祉保険委員会

反対 デイサービスや母子生活支援施設入所措置などのきめ細かい対応は、一定評価する。

反対 保育園開設や保育士のキャリアアップ補助は良いことだが、底上げになっていないかなど課題や根本問題も残っている。

賛成 保育園開設に努力し、着実に進んでいる。これからも丁寧に地域と対話を重ねてほしい。

賛成 陳情を受けて数ヶ月でしょうがい者日中一時支援が進んだことは、ありがたい。

賛成 待機児童ゼロに向けて、今後も努力をお願いしたい。保育士のキャリアアップ補助金も有効に活用してほしい。

## 総務文教委員会での質疑・討論



# 【陳情第15号】「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情【採択】

## こんな質疑がありました

Q. 市長会で総務大臣と農林水産大臣に要望書を提出したとあったが、どのような内容か。

A. この税の賦課方式は、住民税均等割の枠組みの活用が検討されている。市長会としては、それをしない事を求め、徴収については国の責任で行い、苦情も国で受ける事を要望している。

Q. 住民税均等割の枠組みの活用だと国立市への影響は。

A. 均等割で課税すると、徴収の問題が一点。それから、実際の配分は国立市にはされないで、住民理解が課題だと考える。

Q. 市長会の要望書で他に要望項目があるか。

A. 税額については国民負担を最小限にすること。財源の配分は都市部における緑地保全や地球温暖化対策に資する取り組みも対象にすること。国民の理解が得られるよう十分な説明を行うことを求めている。

Q. 陳情趣旨を損なわない範囲で意見書案に加筆、削除、修正をすることは可能か。

A. こちらの陳情事項の趣旨を損なわない形での意見書ということは可能であると考えている。

## こんな討論がありました

不採択 森林吸収源対策の推進が不可欠な状況なのは誰が見ても明らかだ。国の平成29年度予算もこの森林吸収上限の3・5%分を確保するために1千202億円の予算確保している。これがどのように使われているのか。石油石炭税の上乗せ課税などエネルギー特別会計の一部を環境税に充てるというや

り方もある。今回は、個人住民税均等割というのが非常に前面に出ているので、これ以外にやるべき方策があると考えている。

不採択 国立市の公益に直接沿わないことに関して意見書を出すのは慎重になるべきだ。新しく税金をつくることにしても慎重であるべき。

不採択 環境対策への財源は必要だが、一人一人の国民に求めるのではなく、大企業の製造責任、排出責任を明らかにして責任と負担を明確にした環境対策税にするべきだ。

採択 社会保障を中心に積極的な財政投資が必要だ。一方で経済成長が拡大することは望めないことから現実的には市民一人一人を含めて増税は必要。ただ、使途をもっと明確にするべきだ。以上の懸念や課題を意見書案に盛り込むという事で採択とする。

採択 「木材価格の低迷や担い手の育成等山林対策の財源が大幅に不足している」と資料にあるが、国土の保全、雇用の確保には全国森林環境税の創設は必要。国立市の公益とかの問題ではない。ただ、4点要望する。①地方の意見を十分踏まえること②独自課税している自治体とは確実に調整を図ること③実現までの間も必要な予算を国が確保すること④国産材の需要拡大策を推進すること。

採択 税制を変えることによって林業、従事者に財源が渡り森を守っていただかないと都心に住む我々にも被害が及ぶ可能性は大きい。さらには労働人口が集まるといふ合理的な経済も必要だ。

## 9月議会での行政からの報告

### 富士見台地域をこれからのまちづくりのモデルにしていきます

【国立市富士見台地域まちづくりビジョン（案）について（▶建設環境委員会）】

#### 1. 策定の背景

- (1)超高齢社会、人口減少社会の到来を迎え、コミュニティの活力強化や富士見台地域に集積する公共施設の再配置・機能強化など、あり方を検討する時期にあること。

#### 2. 今までの経過

- (1)自治会等まちづくり関係者へのヒアリング、まち歩き事業の実施、市民懇親会を開くなど、様々な視点で富士見台地域の魅力や課題を整理した。

#### 3. 策定の方向性

- (1)将来像を「人が主役、多彩な暮らしが重奏するまち富士見台くコミュニティインフラの想像・展開へ」と定めた。  
 (2)「街」公共施設等の再編にあわせた暮らしを支える機能の拡充とネットワーク化を図ること。  
 (3)「コミュニティ」多様なコミュニティの担い手が出会い・つながる場や機会の創出を図ること。  
 (4)「暮らし」誰もが、その人らしい暮らし方を実現できるソフト・ハードの環境充実を図ること。

#### 4. 今後の取り組み

パブリックコメントを実施するなど、より広く市民に意見を募る。

### ふるさと納税ルール変更の可能性がります

【くにたち未来寄附における特典品の見直しについて（▶総務文教委員会）】

#### 1. ふるさと納税制度では、自治体間の返礼品競争が過熱しているため、総務省が改善策（技術的助言）を提示。

下記項目につき見直しが求められている。

- (1)金銭類似性の高いものex.)プリペイドカードなど  
 (2)資産性の高いものex.)パソコン、テレビなど  
 (3)価格が高額なもの（高額についての基準は明示されていない）  
 (4)返礼品の調達割合が高いものは返礼割合を3割以内にする

#### 2. 国立市への具体的な助言

- (1)自団体住民への返礼品の送付を行ってはいけないこと  
 (2)資産性の高いドローンを見直すこと

### 平成30・31年度も後期高齢者医療保険料の軽減措置を実施します

【平成30・31年度の後期高齢者医療保険料について（▶福祉保険委員会）】

#### 1. 保険料率算定時の設定条件

- (1)被保険者数…平成30年度推計8,680人  
 平成31年度推計8,907人  
 (2)1人当たりの医療費伸び率…1.19%  
 (3)後期高齢者負担率…11.24%  
 (4)所得計数…1.64の見込み、均等割額と所得割額の比は37.88対62.12  
 (5)被保険者の所得伸び率…マイナス2.6%  
 (6)国の保険料軽減特例…低所得者に対する均等割軽減、激変緩和措置の所得割軽減（平成29年度、30年度、東京都独自の軽減策はその後継）  
 (7)診療報酬改定は審議中のため見込まず

#### 2. 1人当たりの平均保険料…10万3,046円

（軽減措置を取らない場合10万9,184円）

### 商工振興のための10のアイデア！

【第3期国立市中小企業等振興会議の最終報告について（▶建設環境委員会）】

#### 1. 市内中小企業の活性化を目的とし、第3期中小企業等振興会議において最終報告が市長に提出された。

既に提出されている国立市観光懇談会「国立市の観光に関する提言書」をもとに、具体的な10の提案として抽出された。

- (1)住民による四季を通じた美しい街づくりの機運醸成 (2)来街者が安心して市内を回遊し買い物ができる環境整備 (3)回遊性の高い国立としての自転車のあり方 (4)個店同士をつなぐ仕組みづくり (5)参加型イベントによる商工業の活性化 (6)市内学校・専門学校・社会教育施設との交流や連携を通じた商工業振興 (7)観光ホームページの充実 (8)Wi-Fi環境の整備 (9)国立の良さや魅力を磨き拡充する (10)市内の商工業者情報を観光的視点から発信

#### 2. 報告書を受けての今後の市の対応

- (1)市役所担当部署及び関係団体で検討し、事業化・予算化に向けて対応  
 (2)既の実施している事業については取り組みを強化

### 待機児童解消のために 保育園新設に取り組みます

【国立市における待機児童の解消に向けた取組について（▶福祉保険委員会）】

#### 1. 平成30年4月に向けた取組状況

- (1)平成30年4月に新設保育園が開園予定、東京都児童福祉審議会保育部会で計画が承認された  
 (2)北保育園において定員拡大のための施設改修を行う計画



#### 2. 平成31年4月に向けた取組状況

- (1)新設保育園を3園公募  
 (2)内2園を都有地活用、内1園を土地も含めた公募で行う  
 (3)認証保育園「さくらっこ保育園」の認可化

### 公立保育園の民営化は児童への影響が少ない事業団方式を考えています

【国立市保育整備計画（案）について（▶福祉保険委員会）】

#### 1. これまでの経過

- (1)平成29年2月27日に素案を公表  
 (2)公立四園保護者連絡会から公立保育園民営化に対する保護者の要望に関する陳情提出  
 (3)保護者の意見を聴く会、説明会の中での意見として、保育士が入れ替わることに不安、保育内容を継承して欲しい、公益財団法人や事業団の設立ができないか、などがあつた  
 (4)保護者アンケートも実施し、事業団方式が良いとの意見が寄せられた

#### 2. 素案からの主な変更点

- (1)保育園民営化に関して、素案では一般の社会福祉法人に移管するとしていたが、社会福祉法人国立市社会福祉事業団を設立することとした

#### (2)事業団方式とする理由

- ①保育環境の変化に対する児童への影響が最小限にできる  
 ②事業団方式の方が保育・子育て支援策に寄与できる  
 ③市の設立事業団であっても私立と同等の補助金等を受けられる  
 ④矢川公共用地を使用するに当たり東京都の承認が必要となるが、社会福祉法人に限定されているため社会福祉法人国立市社会福祉事業団とする  
 (3)人的効果として、市が事業団に職員を派遣し緩やかに職員の入れ替えを行うことにより、事業団職員を育成できる  
 (4)財政効果として、建設費で1億7,800万円、運営費で4,300万円の補助金を活用できる

平成29年第3回定例会

各会派の議案への賛否

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

Table with columns: 議案番号, 件名, 概要, 会派名 (人数は議長を除く数), 議決結果. Rows include budget items (e.g., 第74号, 第75号), ordinance amendments (e.g., 第68号, 第69号), and resolutions (e.g., 議員提出第9号, 第10号).

会派略称

自=自由民主党・明政会(石井伸之・青木健・大和祥郎・高柳貴美代・大谷俊樹・遠藤直弘) 新=新しい議会(藤江竜三・稗田美菜子・石井めぐみ・渡辺大祐) 共=日本共産党(高原幸雄・尾張美也子・住友珠美) 公=公明党(中川喜美代・小川俊明・青木淳子) 風=緑と自由の風(重松朋宏・関口博) 社=社民党(藤田貴裕) こ=こぶしの木(上村和子) み=みらいのくにたち(望月健一)

# 一般質問 要旨・発言順

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局（市長や教育委員会など）に質問することです。

一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しています。

※これまでの会議録は、国立市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。

国立市議会 会議録

検索

## 高齢者など全ての市民が国立に住み続けられる住宅政策を

みらいのくにたち

望月健一 議員



- Q** 高齢者が安心して国立市で住めるようにして欲しい。高齢者の住宅施策について見解を問う。
- A** 【市長】居住の安定を図ることは、大変重要な案件と認識している。
- Q** 複合的な課題を抱えた子ども・保護者を支える子ども版地域包括ケアの進捗状況は。
- A** 子育て世代の地域包括支援センターの設置は市町村の努力義務。今後は、子育て世代を地域で見守る連携体制が課題であると考ええる。
- Q** 1日8千歩歩けばポイントを付与するなど、市民の健康づくりにインセンティブを問う。
- A** 【市長】導入に向けて積極的に取り組むテーマと認識している。
- Q** 聴覚しようがいしゃ対象の緊急通報システムを検討してはどうか。
- A** 当事者の意見を伺いながら、調査研究する。
- Q** コスト削減・災害時における事業継続の観点から、基幹システムのクラウド化の導入可能性は。
- A** システム見直し時に、検討内容を入れていく。
- 他、国立駅・谷保駅・矢川駅におけるホームドアなど転落事故防止対策について質問。**

## 国立駅周辺と富士見台地域南部地域のまちづくりを問う

新しい議会

石井めぐみ 議員



- Q** 再築される旧国立駅舎の活用について問う。
- A** 積極的に発信する提案型の施設にすると共に「国立Style」の販売など収益事業も念頭に市内をめぐる回遊性の拠点としたい。
- Q** 南口複合公共施設や報道のあったJR東日本のビルも想定した、市としての駅前ビジョンは。
- A** 目指すのは「まちと人がつながる、緑と文化のくにたち広場」。まちづくり条例に則り、旧駅舎を中心とする国立らしい景観や歴史性やデザインに配慮した、みんなが集う心地よい空間としたい。
- Q** かつて賑わいのあった富士見台地域の活性化について問う。
- A** 「まちの復興課」を活用して、幅広い世代を意識した賑わい創出と若い世代が活躍できる環境作り、個性溢れる商店地域の支援なども行いたい。
- Q** 南部地域は都市農業の保全と共に住民の利便性も図るべきだがどうか。
- A** 整備基本計画で「良好な住環境の整備」をうたっており、豊かな自然を守りながら交通不便地域の解消なども行いたい。田園住居地域など、用途地域の変更に關しては今後の課題。

## 事業承継は喫緊の課題！行政の姿勢を問う

新しい議会

渡辺大祐 議員



- Q** 創業支援策の経過はどうか。
- A** 創業プランサポートの対象を起業後1年未満に引き上げ、一ヶ月あたりの家賃補助を5万円に引き上げるなど改善した。
- Q** 事業承継問題に行政が関与していく余地があると考えはどうか。
- A** 個々の店舗がまちの賑わいをつくり、市の商業を支えている。事業承継を望んでいる個店が、それができないまま閉店してしまうのは損失だ。積極的に情報提供に努める。
- Q** 事務事業評価委員会に対し、今までの審議結果に対する経過報告を行うべきだがどうか。
- A** 平成29年度に対応事項と財政効果額を示した。今後も外部評価がより効果的なものとなるよう、評価結果が行政運営に反映されているか見やすい仕組み作りを検討する。
- Q** 既存の内部評価であるマネジメントシートや施策評価、事務事業評価委員会の最終報告書など事業の進捗に合わせて、その経過を追究調査し外部に公表すべきだがどうか。
- A** いかにもスクラップアンドビルドや効率化を果たせているかをホームページなどで周知できるように検討する。

## 国立市人権・平和条例にマイノリティーの当事者の声を！

こぶしの木

上村和子 議員



- Q** 今年度中提案予定の(仮)国立市人権・平和基本条例案の進捗状況について。
- A** 平和と人権をあわせた条例はほとんど例がない。恒久平和の実現、マイノリティーの方々に行き届く条例を検討中である。
- Q** さまざまなマイノリティーの当事者の声を聞く場が必要と思うがどうか。
- A** 努力していきたい。
- Q** 市制50周年記念として「しょうがいしゃがあたりまえに暮らすまちの歴史・写真展」はソーシャルインクルージョンのまち国立のあかしとも言える貴重な事業。学校と連携し、全庁をあげて取り組むべきだがどうか。
- A** 大学や高校などへのパネルの貸し出しについて実行委員会にはかりたい。
- Q** 国立駅南口の旧駅舎復元用地の両サイドにJRのビル建設の予定が情報提供されたことに対する市の対応について。
- A** 【市長】まだ行政手続きに入る前段階。JRは関係団体等と、計画について協議する必要がある。
- 他、ごみ有料化に対する苦情への対応、矢川保育園の事業団化について、国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例案、福祉有償運送の活用等質問。**

## 財政の健全化をはかり持続可能な市政運営を

公明党

小口俊明 議員



- Q** 行財政健全化のプランについて、これまでの経過と現状の成果は。
- A** 平成26年度から6年間の期間で健全化の取組方針・実施細目を定め実行している。主な方策は、国民健康保険の赤字補填圧縮、家庭ごみ有料化、保育園の民営化。
- Q** 行政評価システムをどのように活用していくか。
- A** 基本計画ベースで行政評価体系を再構築した。
- Q** 地域交通について、デマンド型の取り組みは。
- A** 平成29、30年度で調査委託を実施する。平成31年度から試行運行を行う。
- Q** デマンド型の利点は。
- A** 面的に運行許可を取るので、これまで入れなかつた箇所にも対応可能。
- Q** 甲州街道の歩道拡幅のための2車線化について。
- A** 東京都は道路ネットワークの完成後に検討する方針である。
- Q** さくら通り東側延伸の進捗を問う。
- A** 平成25年7月に事業認可を取り用地取得に取り組んでいる。
- Q** さくら通り西側の計画について問う。
- A** 東京都における都市計画道路の整備方針で平成28年度から10年間で優先的に整備する路線と位置づけられている。

## 平和いちがいを受け入れ誰も排除しないまちへ

緑と自由の風

重松朋宏 議員



- Q** 基地に囲まれ軍用機の航路直下の自治体として、基地の軍事強化の動きにどう対応するか。
- A** 市長会の枠組みの中で対応していきたい。
- Q** ①加盟する平和首長会議の核廃絶キャンペーンや、②非核武装都市宣言（82年）を活用した核廃絶に、どう取り組むか。
- A** ①被曝樹木の植樹などを行っている。②政治に左右されない恒久平和の理念を、平和・人権条例を検討する中で考えたい。
- Q** 平和政策の基本理念は。
- A** 戦争だけでなく、日常の暴力・差別・排除・貧困・孤立がなく、人権が尊重される状態と考える。
- Q** 国連・持続可能な開発目標（SDGs）を、政策全体にどう活用するか。
- A** 基本構想と重なる部分も多く、参考になる。
- Q** 誰も自殺に追い込まれない社会への取り組みは。
- A** 国や都と連携して、自殺対策計画を策定したい。
- Q** 議員の職員へのパワーハラ・セクハラ事件を受け、外部からの働きかけを全て記録化してはどうか。
- A** 職員倫理規定に記録化の仕組みはあるが、運用面では課題がある。
- 他、歴史遺産としての旧駅舎や円形公園の復元と活用について質問。**

## UR国立富士見台団地の再生は

公明党

中川喜美代 議員



- Q** 飼いのいない猫（地域猫）の対策は。
- A** 住民、ボランティア、行政の3者協働での地域猫の取り組みが功を奏し平成24年度から5年連続で殺処分ゼロを達成。
- Q** ドッグラン設置の取り組みの経過は。
- A** ボランティア団体と協議し、仮設のドッグランと教教室に加えて、講演会を実施している。ドッグラン設置による犬に関する拠点としての役割も大きく期待できるので人と犬が共生できる社会作りを目指していく。
- Q** 不登校児童生徒の現状と課題と対策は。
- A** 不登校児童が通っている適応指導教室が、場所都合で午前中しか実施できていない。矢川プラズ開設後は、現在の中学校適応の建物で、小学校適応も一体的に行いたい。
- Q** 【市長】市長として実現する方向で調整していく。
- Q** UR富士見台団地の空室率と高齢化率は。
- A** 空室率は平成27年で平均22%、高齢化率は平成29年で平均44%。
- Q** URは、団地の再生、再編について、平成30年度までには結論を出すと考えているのか。
- A** その方向で団地自治会や市と協議を行っている。

国立市の市民すべてが、平和に暮らせる今をつくりたい！

日本共産党 住友珠美 議員

Q 今後利用可能な空き家に対して、国立市らしい小規模な居場所づくりで活用できないか。

A 当面空き家施策の第一は適正管理の徹底であると考えている。

Q 保育園民営化には反対だが、市は事業団方式とする中、保育の質の確保、保育園のあり方をどのように考えるのか。

A 市内検討会において、これまでの保育内容の継承が可能な事業団を立ち上げる手法を選択した。



2千万円もの税金無駄遣い コンビニ交付は即刻中止を

緑と自由の風 関口博 議員

Q 住民票等の各種証明書コンビニ交付について6月議会で1枚200円の証明書交付に1万4千円ものコストがかかる指摘しコンビニ交付を止めるべきと提案した。しかし、更にコストがかかることが判明した。3月から8月までの証明書のコンビニ交付枚数は何枚か。

A 交付枚数は508枚。現在の実績からすると1年間で1千枚。コンビニ交付システムの初期費用は、3千500万円で、5年でシステム更新すると仮定し、年間のランニングコストを含めると、コンビニ交付システムは1億2千万円もの税金無駄遣いが必要と判明。200円の証明書を1枚交付するのに2万1千円もかかっている。税金の無駄遣いである。即刻中止するべきと考えるが、どうか。



応益負担の性格を持つ地方税は便益に応じて使用するべき

自由民主党・明政会 大谷俊樹 議員

Q 固定資産税に対する応益負担の考え方は、個人の固定資産を安心・安全に保つ行政運営に対して納税すると言う事か。

A 安心・安全なまちづくりに資する事で結構だ。

Q 南部地域には消火活動困難地域と明記されている所があるが、早期解決が必要ではないか。

A 平成30年度の行政経営方針にも南部地域の狭隘道路の拡幅を進めると記載している。



充実した子育ての応援を

新しい議会 藤江竜二 議員

Q 妊娠をした学生が学業を継続するために保育園の利用はできるか。

A 未成年の場合は、特定妊婦として支援機関がかかるなど個別の支援が必要である。あらゆるケースに対応できるよう保育環境の整備、子育て支援策を進めていきたい。



安心安全対策と子育て

自由民主党・明政会 遠藤直弘 議員

Q 狭隘道路整備方針を作るようだが進行状況は。

A 制度化に向けて進めている。4m以上の整備方針と用地寄附に伴う支援のしきみを進めている。

Q 以前要望した大田道上坂橋付近の安全対策は。

A 橋の欄干に設置しているガードレールの撤去は難しい。白線の引き直し注意喚起のための反射板を設置した。ラバーポールの設置も可能である。



高齢者対策と安心安全なまちづくりを問う

公明党 青木淳子 議員

Q 高齢者世帯調査未回答の方への対応を問う。

A 訪問または電話により状況確認し見守りにつなげる方策を検討していく。



ゲリラ雷雨対策と国立駅南口に建設予定の商業ビル対策は

自由民主党・明政会 青木健 議員

Q 未曾有の被害をもたらす集中豪雨への対策は。

A 都市化の進展とともに危険性が高まっており、排水溝の点検、清掃や水路水門の閉鎖等を講じる施策を取ってきている。

Q 南区等の低い地域に住む住民への対応について。

A 市では、平成22年に洪水避難マップを全戸に配布したが、今後はこの改訂と市民の意識啓発を図るとともに当該自治会に説明会等を行ってまいりたいと考えている。



農地の維持存続と拡大に向けUターン農地制度を確立せよ

自由民主党・明政会 石井伸之 議員

Q 生産緑地法改正による面積要件500㎡から300㎡への緩和を含めた国立市条例の新設時期は。

A H30・3月条例制定予定。転用された農地を再び生産緑地に指定するUターン農地の制度導入は、現在の基準は転用された土地を再び生産緑地に指定しないが、H27都市農業振興基本法施行等の流れより、役所内で関係部署と調整した結果、他市と同様にUターン農地の制度導入を進めていく。



景観基金等と提案

他、上原元市長の賠償金は景観基金等と提案。

景観基金等と提案

他、上原元市長の賠償金は景観基金等と提案。

景観基金等と提案

他、上原元市長の賠償金は景観基金等と提案。

景観基金等と提案

他、上原元市長の賠償金は景観基金等と提案。

誰もが住みよくする施策や  
国立らしいまちづくりを提案



尾張美也子 議員

**日本共産党** 尾張美也子 議員

Q 図書館に認知症テーマのコーナー設置など地域で支える工夫の充実を。

A コーナーなど検討する。

Q 上限40時間のしゅうがい者の移動支援を65歳で10時間限度にせず実態に応じた支援を。

A 状況に応じて検討する。

Q 65歳以上のしゅうがい者も地域参加型サポートをできるようにすべき。

A 今後使えるようにする。

Q 避難所備蓄品の充実を。

A 33年度までに1.5日分の確保を達成する予定。

Q 福祉避難所のマニュアルに当事者の声を生かす。

A スペース・備蓄品等を含め検討し必要に応じて

協定の見直しもする。

Q 避難所となる公立学校のトイレの抜本改修を。

A 洋式化50%が目標。

Q 都は80%目標。補助制度も利用し湿式から衛生的な乾式トイレの改修を。

A 1校で400万円以上の大きな工事だけ補助が出る現在の洋式化には補助が出ないので検討する。

Q 木造住宅耐震診断改修を進めるため、立川市のように無料診断をしては。

A 個別訪問し簡易診断や補助制度のPRを行う。

他、旧駅舎両側に商業ビル建設は景観や既存の商店街に打撃、J R法10条指針で意見するよう要望。

旧国立駅舎再築後の周辺の景色は  
どのようなものになるか



藤田貴裕 議員

**社民党** 藤田貴裕 議員

Q 新聞報道によると、市が再築予定の旧駅舎のすぐ横に、J Rが2棟の商業ビルを建てる計画を報じた。市はどのような対応をとるのか。

A 市はこれまでもJ Rに対し、文化、環境、景観や市の歴史に十分配慮してほしいことや、地元商業関係者と丁寧な話し合いを行ってほしいことを要望してきた。報道されたJ Rの計画は構想で、市との行政協議に入る前の段階と認識している。

Q 中央線高架化の負担割合を教えてください。

A 負担割合はJ Rが16%で、都市側が84%だ。都

市側負担のうち、50%は国が持ち、残る50%を東京都が70%、沿線市が30%の割合で負担する。

Q 旧駅舎周辺の環境を守る取り組みを市長はどう考えているか。

A J Rには多様な発信をしている。国立の伝統などに十分配慮してまちづくりに貢献してほしいこと、地元団体と話し合いをして、方向性を見出してからまちづくり条例の手続きに入りたいこと、ともに良好なまちを築いてほしいことを発信している。これからも努力する。

健康づくり、がん検診率の向上  
子ども医療費助成の拡充を



高柳貴美代 議員

**日本共産党** 高柳貴美代 議員

Q 交通不便地域のコミバス運行で①デマンド型交通の取り組み、②福祉有償運送の取り組みは。

A ①地域に合ったデマンド型交通を検討していく考えている。②福祉有償運送事業の充実を検討する。

Q 市民の健康づくりで大腸がん検診と特定検診とのセット検診で受診率は上がったのか。

A 受診率は5倍になった。平成29年度は多摩地区全体と同程度の受診率になり、セット検診は効果の高い施策である。

Q 子育て支援で①子ども医療費助成の拡充②学童保育の整備拡充③放課後の居場所づくりはどう進んでいるのか。

A ①6年生まで所得制限を撤廃する予算編成を行う。②小学校の特別教室を活用する。矢川学童も六小の特別教室を活用する。職員配置は児童20名に1名、支援の単位に2名配置する。

③子どもが気軽に立ち寄り自由に過ごせる場所として、5事業を選定している。

Q 富士見台のまちづくりビジョンの狙いは何か。

A 地域全体のまちづくりを考える中で、各種団体と連携を図り進めていく。

国立版ネウボフの創設  
「くにサポ」の役割・効果に期待！



高柳貴美代 議員

**自由民主党** 明政会 高柳貴美代 議員

Q くにサポ開設後2カ月の現状を問う。

A 妊娠届をくにサポに提出。出産の不安解消や育児支援のため30分程の面談を行う。支援を必要とする妊婦さんの支援計画を作成するため、ゆりかご会議を各部署が連携し月1回開催していく。

Q 今後時間単位での柔軟な預かりが可能なリフレッシュ目的の一時保育を計画すべきと考えるか。

A 一時保育の充実はまだの活性化にもつながるので、時間単位の預かりを今後検討して参りたい。

Q マンホールトイレ使用時処理水の取水方法を

確認、使用検証をすべきと考えるが。

A 災害時マンホールトイレの組み立てから使用維持、管理等を実際に担えるよう、配備完了の指定避難所については、訓練実施を依頼して参りたい。

Q 週末になると、安全を脅かす違反広告物が存在する。除去活動指定日の変更や除去推進団体の更なる募集はできないか。

A 屋外広告物のクリーンキャンペーンの広報と合わせて推進団体募集を市報で行う。除去活動指定日の変更も今後検討する。

他、災害対策用井戸、高齢者支援について質問。

# 広報委員会視察報告 ~2017年8月24日~

議会に対する市民の理解と関心を高めるための広報を目指し、広報委員会で視察研修を行いました。

## 杉並区広報戦略 「伝える」から「伝わる」へ

「伝えたいけど、伝わらない」広報活動の効果が高まらず、悩みを抱えていた東京都杉並区。状況改善に取り組み新たな広報戦略を打ち出した。

**注目の改善策**

- \* クリエイティブディレクター、デザインコンサルタントとして活動している谷浩明さんを広報専門監として採用。紙面改革をアドバイス
- \* 世代を超えて若手やベテラン職員を主役にした企画が関心を集めた。

**視察感想** 谷広報専門監に「くにたち市議会だより」の感想をいただいた。読み手の興味を引かないとの厳しいお言葉だった。表紙の改善や対談などを先進市にならって取り入れるべきだと感じた。



## 日本広報協会 分かりやすい議会広報紙のポイント

全国から集まる広報紙を見ながら、専門的な立場からの意見を伺った。

### 最近の議会広報紙のリニューアル傾向

- \* 特集を組む→議会や市政への関心を高める。対談等
- \* 市民参加企画、市民の声を掲載→議会クイズやインタビュー企画等

**視察感想** 一度に様々な議会報を比べてみる事が出来た。最近の傾向など今後の広報紙へ取り入れていきたい。

# 常任委員会が行政視察を行いました

## 総務文教委員会（10月12日、13日）

大阪府堺市 堺市平和と人権を尊重するまちづくり条例について  
兵庫県神戸市 神戸市災害受援計画について

## 建設環境委員会（10月12日、13日）

静岡県富士市 富士市産業支援センターf-Bizの取り組みについて  
愛知県春日井市 新型市民農園について

## 福祉保険委員会（10月16日、17日）

熊本県熊本市 熊本地震における福祉避難所の運営等について  
熊本県庁 地域の縁がわ事業について  
健軍くらしささえ愛工房 地域の縁がわ事業について、施設見学

視察報告書は、今後、ホームページで公開する予定です。

### 住所変更のお知らせ

藤江竜三議員（新しい議会）の住所が変わりましたので、お知らせします。

### 新住所

富士見台3-25-51

※各議員の住所等は、市議会ホームページに掲載しています。

### ◆編集後記◆

今号の「議会だより」はいかがでしたでしょうか？  
記事にもありますが、広報委員会はより多くの皆様に、手に取って読んで頂けるよう視察を行いました。早速今回から1面の写真のレイアウトに変化をつけ、新たな紙面づくりにチャレンジしました。今後も様々な紙面づくりに取り組みたいと考えていますので、是非とも皆様からのお声を頂きたいと思っております。

# 国立市議会 意見交換会を行います！ 議員が農業まつりに出張して、ご意見を伺います

## — 農業まつりとは？ —

農業まつりは、くにたちの農と触れ合い、秋の実りを堪能できるイベントです。

くにたちで育った農産物の展示・販売、苗木やけんちん汁の無料配布、その他多くのイベントが開催されます。また、今年も国立市消費生活展が同時開催されます。

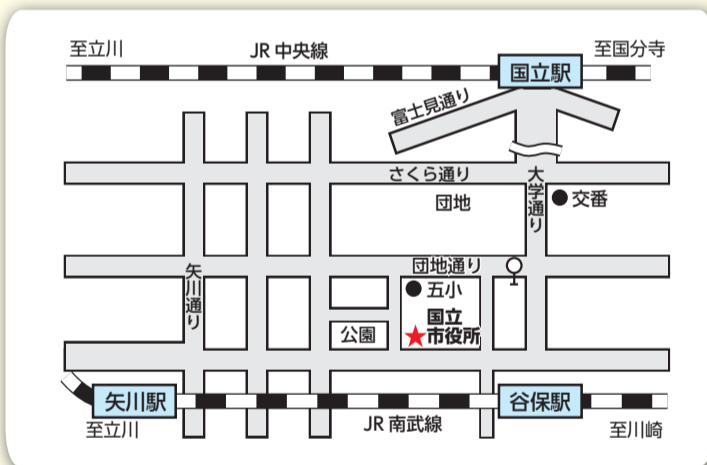
くにたちの秋の祝祭にぜひお越しください！



## ●意見交換会

**日時** 平成29年  
11月11日(土) 13:00 ~ 16:00  
12日(日) 9:00 ~ 15:00

**会場** 国立市役所 1階市民ロビー



市政に関して気になること、ご意見、ご要望などについてお話しください。

今回は農業まつりにて、国立市議会議員が、皆さんからのご意見を承ります。

イスとテーブルとお茶を用意しておりますので、ご休憩がてら気軽にお立ち寄りください。

下記の「ご意見記入カード」にご記入いただき、お持ちください。

切り取り線

## ご意見記入カード

市政に関して気になること、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください

ご記入ありがとうございました。